

1. 事業の概要 (Plan)

	コード	名 称		担当所属	生涯学習課		
事務事業	802023	スポーツ団体育成経費		氏 名	課長 田嶋 雄洋		
総合計画での位置づけ	政策	5-4	スポーツの振興	予算科目	会計	01 一般会計	
	施策	2	可能性に挑戦する競技スポーツの推進		款	10 教育費	
根拠法令・要綱等					項	05 保健体育費	
					目	01 保健体育総務費	
対 象 (誰を、何を、どこを)	市民、村上市体育協会、村上市スポーツ少年団、市内総合型地域スポーツクラブ						
目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	生涯スポーツ・競技スポーツ両面の振興を図るため、体育協会やスポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブなど、スポーツ推進団体の自主性を助長しながら、官民協働による効果的なスポーツ振興を行う体制を整える。						
開 始 年 度	平成 20 年度	関連事業					
終 了 年 度	平成 - 年度						
本年度事業内容 (目的実現のための手段及び活動実施内容、やり方、手順など)	体育協会、スポーツ少年団に対し、スポーツ振興事業事務の委託、活動補助を行う。 総合型地域スポーツクラブに対し、各種大会・教室スポーツ事業の委託、自立支援(補助)、クラブマネジャー設置支援(補助)を行う。 県とともに指定競技(ソフトテニス)のジュニアクラブに対し支援(補助)を行う。						

2. 事業実施実績と実施見込み (Do)

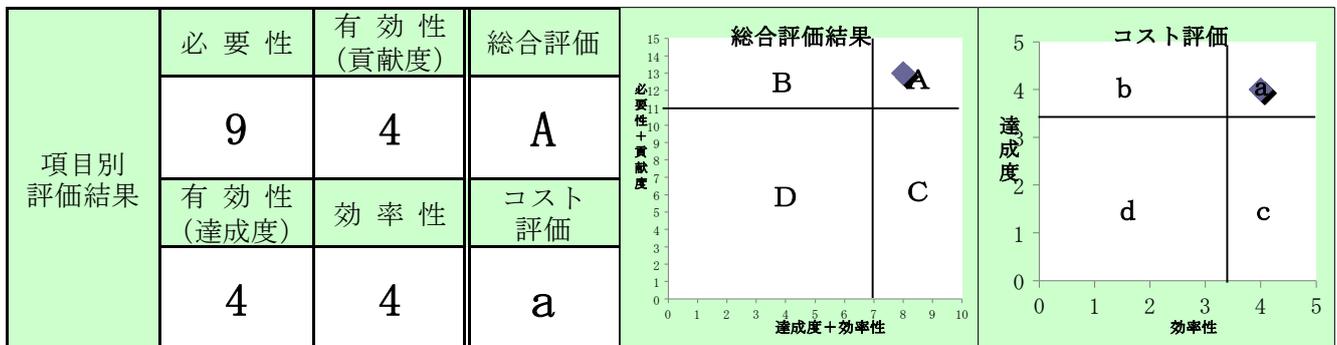
活動指標	指 標 名	単位	H23		H24		H25		H26	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	公認指導者(士)数 <small>日本体育協会が公認スポーツ指導者制度に基づき資格認定する指導者</small>	人	目標	—	目標	—	目標	—	目標	37
			実績	45	実績	41	実績	66	見込	94
			目標	—	目標	—	目標	—	目標	—
			実績		実績		実績		見込	

成果指標	指 標 名	指標設定の考え方	単位	H23		H24		H25		H26	
				目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	全国大会等出場者	スポーツ振興により各種競技の全国大会に出場できた選手数	人	目標	—	目標	—	目標	—	目標	90
				実績	84	実績	99	実績	99	見込	100
	体育施設利用者	スポーツ振興によりスポーツをするために施設を利用した人数	人	目標	—	目標	—	目標	—	目標	478,000
				実績	464,323	実績	480,756	実績	516,529	見込	500,000
数値で表せない成果(見込み)	体育協会の活動、スポーツ少年団の活動、各地区ごとに設置された総合型地域スポーツクラブの活動により、市民がスポーツに触れる機会は増加している。										

事業	年 度	H23 (決算額)		H24 (決算額)		H25 (決算額)		H26 (当初予算額)		H26 (見込み額)	
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)		
業	直接事業費 a	28,029	27,818	29,331	50,967	51,518					
	(主な費用)										
	総合型スポーツクラブ事業委託料	18,139	15,972	15,972	23,180	23,180					
	スポーツ少年団活動費補助金	2,154	2,154	2,154	3,900	3,900					
	市体育協会活動費補助金	3,475	3,332	3,680	3,780	3,780					
コ	財源内訳										
	国庫支出金										
	県支出金	107	117	108	117	117					
	地方債										
	その他										
ス	一般財源	27,922	27,701	29,223	50,850	51,401					
	人件費 b	3,500人 26,579	3,500人 26,240	3,500人 26,135	1,500人 11,076	1,500人 11,076					
ト	総コスト(a+b) c	54,608	54,058	55,466	62,043	62,594					
	市民一人当たりの額(c/人口)	(円) 810	(円) 812	(円) 844	(円) 956	(円) 964					

### 3. 事業の評価 (Check)

区分		評価		説明
必要性	ニーズ	4	依然とニーズが高い。	市民の健康保持・増進と競技力の向上、青少年の健全育成等、スポーツの必要性は高まっており、推進体制の整備が求められている。
	公共性	5	行政以外にはできない事業である。	スポーツの推進において、民間が担う部分と公が担う部分があり、公が担う部分について行っている。
有効性	達成度	4	概ね目標水準に達する。	市内5地区に総合型地域スポーツクラブが設立され、体協、スポ少と合わせてジュニアからシニアまでスポーツを推進する体制が整った。
	貢献度	4	昨年と同程度の成果をあげ、施策に反映されている。	スポーツに関する各種大会、イベントの実施、関係団体への支援を行うことにより、スポーツの推進が図られた。
効率性		4	事業に見合うコストである。	予算のほとんどがスポーツ関係団体に対する委託料、補助金に充てられており、事業実施のための経費となっている。



### 4. 今後の方向性 (Action)

事業の 方向性	方向性	継続
	理由	スポーツ基本法第4条は「地方公共団体は、基本理念にのっとり、スポーツに関する施設に関し、国との連携を図りつつ、自主的かつ主体的に、その地域の特性に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する」と規定している。この規定に則り、市（行政）が実施すべき事業（業務）を実施するもの。
	今後の対応 (改善策等)	継続して事業（業務）を実施する。ただし、その方法については、国・県の動向や社会情勢を見ながら時勢に応じ、その都度、内容を精査して見直しを行う。

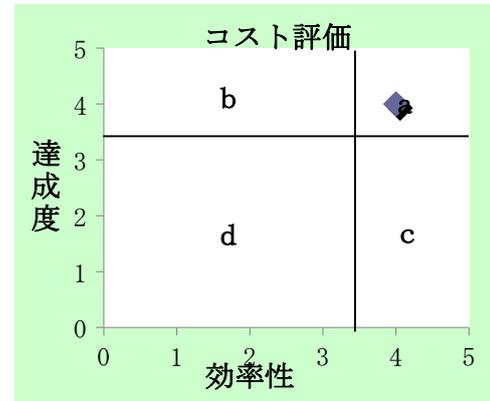
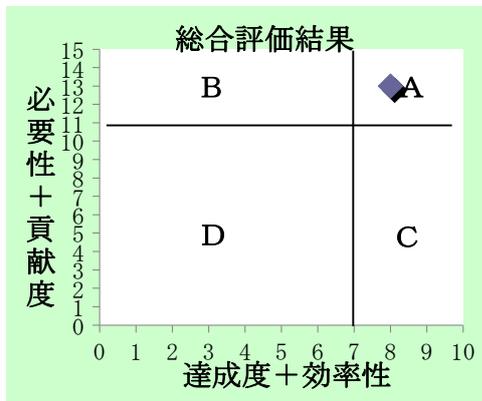
### 5. 【総合評価】（行財政改革推進本部会議）

結論	今後の方向性	
	当該事業の今後の方向性はどうか。	
	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 再構築 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 (理由) 担当課の方向性を了承する。	

## 事務事業評価シート（行政評価委員会）

事務事業名称		スポーツ団体育成経費	
評価項目		評価基準	点数
必要性	ニーズ	<p>今の社会状況や市民ニーズがあるか。</p> <p>「5」……ますますニーズが高くなっている。</p> <p>「4」……依然とニーズが高い。</p> <p>「3」……どちらとも言えない。</p> <p>「2」……当初見てニーズは低くなりつつある。</p> <p>「1」……当初から見てニーズは低くなっている。</p>	5
	公共性	<p>(理由)</p> <p>スポーツ全般に対するニーズは高まっている。</p> <p>市と民間等の役割から市が行う必要性があるか。</p> <p>「5」……行政以外にはできない事業である。</p> <p>「4」……民間でも可能だが行政が担うべき事業である。</p> <p>「3」……どちらとも言えない。</p> <p>「2」……民間でも実施できる(実施している)事業である。</p> <p>「1」……むしろ民間等で行う事業である。</p>	4
有効性	達成度	<p>事業の効果・成果は十分か。</p> <p>「5」……目標以上の達成度である。</p> <p>「4」……概ね目標水準に達する。</p> <p>「3」……どちらとも言えない。</p> <p>「2」……やや目標を下回り、改善が必要である。</p> <p>「1」……目標を大幅に下回り、根本的な見直しが必要である。</p>	4
	貢献度	<p>(理由)</p> <p>当初の目標設定は低い、目標水準に達していると考え。</p> <p>昨年と比べて事業の成果を挙げる。そして施策に反映されているか。</p> <p>「5」……昨年以上の成果をあげ、施策に非常に反映されている。</p> <p>「4」……昨年と同程度の成果をあげ、施策に反映されている。</p> <p>「3」……どちらとも言えない。</p> <p>「2」……昨年よりの成果が低く、施策にあまり反映されていない。</p> <p>「1」……昨年よりの成果がなく、施策に全く反映されていない。</p>	4
		<p>(理由)</p> <p>総合型地域スポーツクラブの設立、指導者育成したことにより一定の成果はあげていると考え。</p>	

評価項目	評価基準	点数
効 率 性	事業(取り組み・成果)に対する経費・人員(コスト)は適切か。 「5」・・・事業に対するコストが少なく、かなり効率が良い。 「4」・・・事業に見合うコストである。 「3」・・・どちらとも言えない。 「2」・・・ややコストが上回り、改善が必要である。 「1」・・・事業に対するコストが過大で効率が悪い。	4
	(理由) 総合型地域スポーツクラブ等に委託することによりコストは下げられると思われるが、総合型地域スポーツクラブの育成を考えれば事業に見合うものとする。	



- A: 現時点では、現状(計画・予定)どおり事業をすすめることが妥当
- B: 事業の進め方の改善検討
- C: 事業規模・内容、実施主体等の見直しが必要
- D: 事業の抜本的見直しが必要

- a: 現状どおり事業をすすめることが妥当
- b: 現在の有効性を維持してコストを下げる取り組みが必要
- c: コストパフォーマンスを維持して有効性増加が必要
- d: 事業の抜本的見直しが必要

【今後の方向性】

	事業の方向性
結 論	当該事業の今後の方向性はどうか。 <input checked="" type="checkbox"/> 拡 充 <input type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 再構築 <input type="checkbox"/> 縮 小 <input type="checkbox"/> 廃 止
	(理由) 他地域に比べて優れているようなスポーツへの事業や支援を積極的にPRして強化選手の育成・支援や指導者の養成など、市民からのアイデアを募ったりして内容の拡大を検討していただきたい。 また、利用者の利便性や活動を円滑にするため総合型地域スポーツクラブの統合検討を促すとともに、様々な事業を利用しやすく利用者の増加につながるよう、クラブを問わず統一した料金で事業に参加できるように検討していただきたい。